



湖岸のごみを拾い集める参加者

上戸浜で清掃活動

猪苗代湖岸一斉クリーンアップ作戦

町と猪苗代湖環境保全推進連絡会が主催する「猪苗代湖岸一斉クリーンアップ作戦」は8月3日、上戸浜で行われ、町内外から約100人が参加しました。開会式では、二瓶盛一町長が「猪苗代湖がラムサール条約登録湿地に認定されました。美しい猪苗代湖を後世に引き継ぐため、今後も水質日本一を目標に水環境保全に取り組んでいきます」とあいさつ。参加者は、湖岸に打ち上げられたごみを熊手などを使って丁寧に拾い集めました。

安藤ウシさんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

7月28日に100歳の誕生日を迎えた安藤ウシさん(古城町)への賀寿贈呈式は8月6日、安藤さんの自宅で行われ、家族らが長寿を祝いました。二瓶盛一町長が県からの知事賀寿と会津漆器の木杯、町からの賀詞と敬老祝金を手渡しました。安藤さんは「長寿の秘訣は、たくさん食べること。日々の楽しみは、デイサービスに通うこととテレビゲームをすること」と話してくれました。安藤さん、いつまでもお元気にお過ごしください。



賀寿などを受けた安藤さん(中央)



12年前に自分に宛てた手紙や思い出の品を手にする参加者

当時の思い出を語り合う

「えとタイムカプセル」掘り起こし式

町内6つの小学校で12年前に6年生だった児童が埋めた「えとタイムカプセル」の掘り起こし式は8月10日、猪苗代ハーブ園で行われ、タイムカプセルを埋めた卒業生のうち、約50人が参加しました。セレモニーでは、代表して遠藤寧音さん(長瀬小卒)が「母のような保育士になるという夢を叶えることができ、毎日がむしゃらに頑張っています」とあいさつ。参加者は、自分宛ての手紙や写真を手にし、思い出や近況を語り合いました。

平和を願い戦没者の冥福を祈る

町戦没者追悼式

町戦没者追悼式は8月19日、学びいなで行われ、町遺族連合会員ら約80人が参列し、第二次世界大戦で犠牲になった戦没者800余柱の冥福を祈りました。式では、参列者全員で黙とうを捧げた後、二瓶盛一町長が「私たち皆で心を合わせ、将来にわたって平和で幸せな町を築いていきましょう」とあいさつ。笹原賢司県会津保健福祉事務所長、後藤公男町議会議長が追悼の辞を述べた後、参列者が献花をし、英霊を慰めました。



冥福を祈り献花する町遺族連合会の遠藤俊英会長



来場者に人気だった救命救急講座

学びいなで夏祭りを楽しむ

学びいな夏祭り 2025

学びいな夏祭り 2025は7月20、21の両日、学びいなで開かれました。会場内には、学びいなが主催する講座の受講生の作品などが展示されたほか、ミニSLの運行や、まが玉作り体験、オリジナル缶バッジ作り体験などができるブースが出演。今年は、町合併70周年を記念し、猪苗代消防署による救命救急講座や猪苗代警察署によるパトカー・白バイの展示、交通安全教室も行われ、大勢の家族連れなどでにぎわいました。

全国大会出場を果たす

猪苗代中卒の同級生3人

猪苗代中卒で現在高校2年生の同級生3人が全国大会出場を果たしました。会津農林高校の小板橋望香さんは柔道競技で、郡山萌世高校の佐藤陽菜さんはバレーボール競技で、東北高校(宮城県)の半澤かなさんはゴルフ競技で、8月に開催された全国大会に出場。大会前の7月23日には、小板橋さんと佐藤さんが町役場を訪れ、二瓶盛一町長から激励を受けました。3人は進学先で、それぞれの競技で活躍を続けています。



二瓶町長(左)からエールを送られた(左2人目から)小板橋さんと佐藤さん



認定品を手にする事業者の皆さん

町内産農林水産物をブランド認定

新たに5品をプレミアム認定品に追加

町内産の農林水産物や加工食品をブランド認定する「いいな！いなわしろ」の認定証交付式は7月28日、町役場で行われ、4事業所が出品した5品がプレミアム認定されました。会津猪苗代カンダファームの「会津産ゆうだい21」、NPO法人猪苗代研究所の「いな#めん」、ドライブイン磐尚の「豆ずり餅」、清水屋製麺の「いなわしろ天の香生そば」と「いなわしろ天のつぶ本生うどん」が新たにプレミアム認定品に加わりました。

ゴリラ研究の第一人者が講演

町合併70周年記念事業でサイエンスセミナーを開催

「野口英世博士のふるさと猪苗代町でやさしく学べるサイエンスセミナー」は7月30日、学びいなで開かれ、町内外から約320人が参加しました。町と町教育委員会が主催する合併70周年記念事業で、総合地球環境学研究所長を務めている山極壽一さんを講師に招いて、「ゴリラから学んだ生きる力」と題したセミナーを開催。参加者の中にはメモを取る人もいて、山極さんの話に熱心に聞き入っていました。



ゴリラの生き方や人間との違いなどについて話す山極さん

キラリ光る おらが村



水田に稲の苗を手植える写真や女学生たちがイナゴ捕りをする写真などが展示されました



昭和30年代から昭和40年代頃の農作業の写真を見て、当時の様子を懐かしみながら話す鈴木さん(右)

西館地区で70年前の暮らしを振り返るパネル展

町内の西館地区では8月14日、西館豊作祈願納涼祭に合わせて、地区の暮らしの様子を伝える「わが西館区暮らしパネル展」を開きました。

町合併70周年にちなんで、西館地区の昭和30年代から昭和40年代頃までの暮らしを紹介するパネル展を開いて住民参加で盛り上げようと、いなわしろ民話の会に所属する同地区の鈴木清孝さんが企画しました。

集会所の2階には鈴木さんがこれまでに集めた、当時の農作業の様子やイナゴ捕りをしていく写真のほか、地区の歴史がわかる資料を展示。鈴木さんは「展示物は、70年前にあたる昭和30年代からの西館地区の暮らしぶりです。農業を中心とした生活は、馬やベコが人の生活を支えていました。その頃の子どものちは、秋になればイナゴを捕って、落穂を拾って、それを学校に持って行き、鉛筆やノートに交換してもらっていました。そんな時代の様子を今の子どもたちに、地区の人たちが集まる場を借りて、知ってもらいたい」と話しました。

地域おこし協力隊通信



私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

たくみ
荒井 巧巳さん

主な活動内容：観光振興・インバウンド集客など

皆さんこんにちは。商工観光課地域おこし協力隊の荒井巧巳です。

暑い夏が過ぎ、まもなく秋分を迎えようとしております。冬支度の準備をしようと思っております。雪が降らないのも、雪が降りすぎると困ってしまいます。ちょうど良く雪が降って、ホワイトシーズンを迎えたいものです。

さて、私のミッションは「インバウンド誘客」です。一年を通じたコンテンツの作成や、町内事業者向けのインバウンド受け入れセミナーの開催などを行っています。

猪苗代は世界でもまれな環境だと思えます。湖とスキー場エリアが隣接しているエリアは日本国内でも数カ所ほど、世界的に見てもそう多くはありません。誘客するにあたって、観光地とバカンス地では取り組み内容が違ってきます。猪苗代は世界で通用するバカンス地としてのポテンシャルを十分に備えていると思えますので、広く認知してもらえよう国内外に発信していきます。そして多くの欧米人が、この猪苗代を訪れてくれるよう引き続きミッションに励んでいきます。



ベリーベリーソーダ(右)といなわシフォン

福島大生がドリンクを開発

コラボ商品第2弾「ベリーベリーソーダ」を限定発売

福島大の3年生が新しく開発したドリンク「ベリーベリーソーダ」が9月28日まで、猪苗代地ビール館で発売されています。本町と同大学の連携事業の一環で、昨年に引き続き地ビール館の協力を得て学生が開発。ベリーベリーソーダは、町内産イチゴとブルーベリーを使い、爽やかな酸味と華やかな見た目が楽しめるドリンクです。町内産米粉を使用したシフォンケーキ「いなわシフォン」と一緒に、猪苗代の味をお楽しみください。

いなわしろ軽便ウォークをPR

猪苗代T&Fの児童が沼尻軽便鉄道の線路跡を走る

町スポーツ少年団陸上競技部猪苗代T&Fの児童ら約20人は8月23日、沼尻軽便鉄道の線路跡をリレー形式で走りました。いなわしろ軽便ウォークのPRと子どもたちに沼尻軽便鉄道の歴史を知ってもらおうと昨年から実施。児童らは複数のチームに分かれて川桁駅をスタートし、終着駅の沼尻駅まで約18kmをたすきで繋ぎました。27回目を迎える同軽便ウォークは9月28日(日)に開催されます。



ゴール目指して懸命に走る児童ら

受賞者が野口英世記念館を視察

第5回野口英世アフリカ賞

野口英世博士の志を引き継ぎ、アフリカのための医学研究や医療活動の分野などで業績を挙げた医療従事者などを表彰する「第5回野口英世アフリカ賞」の授賞式は8月22日、東京都の明治記念館で行われました。

今回は、マラリアの治療に貢献したアブドゥライ・ジムデ博士(マリ共和国)と、熱帯病の「アフリカ睡眠病」の治療薬開発などに取り組んだ非営利組織「顧みられない病気の医薬品開発イニシアティブ(DNDi)」(ルイス・ピサロ代表)が受賞。

8月24日に本町を訪問した受賞者らは、ホテルリステル猪苗代で開かれた内堀雅雄福島県知事主催の歓迎昼食会に出席した後、野口英世記念館を視察しました。同記念館では、歓迎セレモニーが行われ、猪苗代町国際交流協会や町民らが受賞者の出身国の小旗や横断幕を掲げて出迎えました。野口英世記念会の倉根一郎理事長が歓迎のあいさつをし、本町から受賞者らへ中ノ沢けしなどの記念品を贈呈。倉根理事長らの案内で、同館内や野口博士の生家を見学しました。

野口英世アフリカ賞は、日本政府が2006(平成18)年に創設し、3年ごとに開催されるアフリカ開発会議(TICAD)に合わせて授賞式が行われています。



野口英世記念館で中南米やアフリカ時代の資料を見学するジムデ博士(左)とDNDiのピサロ代表



野口英世記念館前で受賞者を歓迎する町国際交流協会の会員ら